

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和元年度第2回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和元年8月16日（金）午後1時30分～午後3時00分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：椎木 俊秀、小林 冬子、大沼 眞弓、宮澤 ひとみ、陰山 行弘、柳 清美、須永 美智子、佐藤 達也、平田 将太郎、鮫島 由美子、茂木 正義、富田 眞貴子、榎本 勝、諏訪 潤 欠席者：岩瀬 香世、千田 祐子、押田 友紀子、名取 浩美、佐々木 久子、来栖 眞理子 事務局：登坂部長、阿部課長、奥泉係長、樋口主事
議 題	1 委嘱書交付 2 報告事項 （1）令和元年度第1回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について （2）就学前障害児の児童発達支援の無償化について （3）武蔵村山市地域生活支援拠点等検討会の報告 （4）各専門部会からの報告 （5）その他 3 議題 （1）専門部会編成検討会の設置について （2）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について：専門部会編成検討会を立ち上げ、協議を進めることとする。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	2 報告事項 （1）令和元年度第1回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について ■事前に会議録を配布させていただいている。現時点では修正等の意見はない。修正等の意見がある場合は、今月末までに意見をいただきたい。 （2）就学前障害児の児童発達支援の無償化について ■（配布資料に基づき説明） （3）武蔵村山市地域生活支援拠点等検討会の報告 ■（配布資料に基づき説明） （4）各専門部会からの報告

(訪問系サービス事業者部会から報告)

○事例検討を行った。実際の支援の中で対応が困難なケースを各事業所で話し合い、支援の質を高めていくという目的のもと、今年度の取組とした。

次回以降も、事例検討を重ね、支援の質の向上を図っていく。

(日中活動系サービス事業者部会から報告)

○6月に部会を開催した。障害福祉課より、工賃アップ各種支援事業の説明があった。

施設見学会を行っている。事業所の職員同士の交流や普段の支援の振り返りにつながる良い機会である。

研修については、東京都の登録講師派遣の後期分に申し込む予定である。

情報交換では、ネットワーク支援事業が話題となった。現在の市内事業所の状況では難しいこともあるが、ネットワーク化が図れたら、各事業所で連携が取りやすくなるという意見が出た。

他にも、生活介護の需要の増加に伴う事業所不足が話題となった。

●報告の中に多摩地域の平均工賃について記載があるが、東京都全体や全国の平均工賃は目にしている。多摩地域の平均工賃に関しては、目にすることがない。いくらぐらいになるのか。

○詳細は把握できていない。

●ネットワーク支援事業で500万円の補助金とあるが、自立支援協議会の専門部会で補助金の交付を受けることが出来るのか。

■自立支援協議会の部会に交付するわけではない。複数事業所の共同体に補助金を交付することになる。

(相談支援サービス事業者部会から報告)

○社会福祉協議会から地域福祉コーディネーターの配置や子ども食堂、引きこもりの方の家族会を立ち上げたとの情報提供があった。

各事業所の状況報告と事例検討を行っている。地域生活支援拠点等についても意見交換を行っている。

10月31日に4市合同研修会を開催することとなっており、その打ち合わせを行った。

○子ども食堂や家族会について詳しく知りたい。子ども食堂には利用できる方に要件はあるのか。引きこもりについては、東京小児療育病院にも相談が来るが、医療で出来る範囲は限られている。家族会があるのであれば、保護者に情報提供を行っていききたいので、詳細について教えてもらいたい。

○社会福祉協議会の担当者から説明があった。子ども食堂は地域の団体の方が立ち上げたものである。詳細については把握できていないため、説明が出来ない。家族会については、武蔵村山市には家族会がなかった。ま

た、地元の家族会には近所の市民に知られたくないなどの理由から他市の家族会に参加するといった状況であった。武蔵村山市でも家族会を立ち上げ、他市の家族会と連携をとり、支援を行っていく。福祉まつりでもブースを設ける予定である。

■子ども食堂は孤食や生活困窮の児童を対象としている。

●地域福祉コーディネーターはどういうことをするのか。

○地域の困りごとなどを世代等問わず、相談を受け、支援を行っていく。また、子ども食堂などの団体の立ち上げに携わっていく。

(放課後等デイサービス事業者部会から報告)

○部会の1年間の取組について話し合った。また、春休みやゴールデンウィークの各事業所の様子、防災時の備品等について情報交換を行った。

他にも、夏休みの各事業所の予定や熱中症対策、学習会について話し合った。

(障害者のくらしを考える部会から報告)

○防災安全課の職員に出席いただき、障害者の防災について、部会員からの質問に回答をいただいた。障害のある方の避難所に関して、市内学校をモデルにマニュアルを作成しているなどの話を伺えた。

ヘルプバンドナについてであるが、今年度は予算がつかなかった。しかし、障害のある方の避難所の整備状況等を踏まえると、ヘルプバンドナがあることが望ましい。必要性、枚数の根拠などをまとめ、1つの部会としてではなく、自立支援協議会として、意見を上げていきたい。

○東京小児療育病院は障害者施設でもある。利用されている方の中には、医療的対応が求められる方もいる。協議はこれからであるが、災害時、都立村山特別支援学校に避難し、東京小児療育病院からスタッフを派遣するというを考えている。また、それが可能などときには、他の医療機関も含めて、協議していく必要もある。

○障害者の避難所の基本的な部分が整備されていないということで、部会では医療に関する部分までは話し合っていない。今後、医療の部分も含めて、話し合っていく。

●防災安全課には消防庁から派遣されている職員もいると聞いている。防災対策において、武蔵村山市で取り組んでいることはあるか。

■詳細に関しては把握できていない。防災の計画を策定しているとは伺っている。

●災害時支援計画についてであるが、個人情報への取扱いの関係もあり、計画の作成がなかなか進んでいないと聞いている。しかし、医療が必要な方などについては把握、作成は進んでいるのか。

○保健所において、在宅の人工呼吸器を利用されている方に関しては、市

	<p>と連携を図り、計画の作成を進めている。今後についても、これまでと同様に進めていきたい。しかし、保健所では、難病、小児の医療的ケアを必要としている方のみであり、それ以外の把握は困難である。</p> <p>■地域福祉課を中心に行っていることであり、詳細が分かり次第、報告をしていきたい。</p> <p>(障害者のはたらくを考える部会から報告)</p> <p>○7月にハローワークの就労準備講座を開催した。8月の部会でその振り返りを行った。</p> <p>また、天乃屋の工場見学を開催した。工場見学当日は定員10名のところ、20名の希望があり、来年度も開催可能かどうかを調整していく。</p> <p>今年度の他の取組としてはサンシャインホームでの体験実習を予定している。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 専門部会編成検討会の設置について</p> <p>■ (配布資料に基づき説明)</p> <p>●自立支援協議会の会長として、協議に携わりたい。参加することは可能か。</p> <p>■可能である。</p> <p>●資料で挙げられている構成員で協議を進めていくことで異論ないか。</p> <p>○異議なし。</p> <p>●承認とする。</p> <p>(2) その他</p> <p>■居住系サービス事業者部会で作成を進めていた障害福祉支援マップが完成した。障害福祉課窓口前にて掲示している。</p> <p>■次回は11月15日(金)午後1時30分から市民総合センター3階集会室で開催予定である。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0 人 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
--------------------	---

